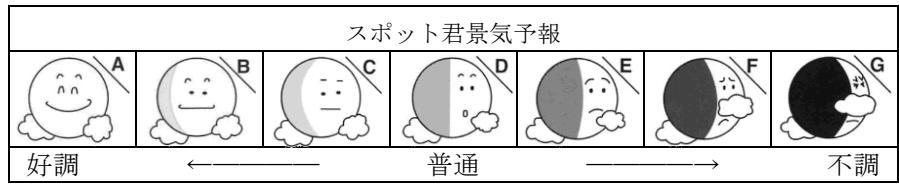


## 2. 目黒区内中小企業の景況（令和4年10～12月期）

### （1）今期の特徴点



#### 製造業

業況は△21.3で前期比0.7ポイント増と前期並の厳しさが続いた。売上額は△7.8で0.8ポイント増と前期並の減少が続き、収益は△24.0で8.8ポイント減と大きく減益幅が拡大し、資金繰りは△18.4で9.4ポイント減と大幅に窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は3.6ポイント減の△24.9と低調感がわずかに強まる見込み。



#### 卸売業

業況は△42.8で前期比1.7ポイント減と多少低調感が強まった。売上額は△23.0で22.2ポイント減と極端に減少幅が拡大し、収益は△44.9で50.9ポイント減と増加から減益に転じ、資金繰りは△13.0で8.3ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は6.7ポイント増の△36.1と厳しさが大きく和らぐ見込み。



#### 小売業

業況は△11.3で前期比1.2ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は△11.6で12.2ポイント減と水面下に落込み、収益は△11.9で0.1ポイント減と前期並の減益が続き、資金繰りは△14.6で0.2ポイント増と前期並の苦しさで推移した。来期の見通しについては、業況は3.1ポイント増の△8.2と厳しさが幾分和らぐ見込み。



#### サービス業

業況は△41.2で前期比9.5ポイント減と大幅に低迷した。売上額は△19.8で6.8ポイント減とかなり減少を強め、収益は△24.0で3.1ポイント減と若干減益幅が拡大し、資金繰りは△18.8で7.3ポイント減と大きく厳しさが増した。来期の見通しについては、業況は8.3ポイント増の△32.9と大幅に上向く見込み。



#### 建設業

業況は△9.4で前期比1.0ポイント減と前期並の厳しさが続いた。売上額は11.1で22.0ポイント増、受注残は3.0で4.5ポイント増とともに増加に転じ、資金繰りは8.0で11.3ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は1.9ポイント減の△11.3と低調感がやや強まる見込み。

## 各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

